



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA  
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S

# The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998

国際会長主題	「世を照らす光となろう」	“Be the Light of World”
アジア地域会長主題	「歳月はY'sをワイズ(賢者)にする」	“Years Bring Wisdom”
西日本区理事主題	「先頭にたつてワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」 “Let's Ysmen Light Shine before Others, in the Club, in the Community, in the World”	
中部部長主題	「前へ！声を掛け合い1」	“Go forward! Call Together”
金沢クラブ会長主題	「より楽しく・より豊かに 伝えようワイズワールド」	

## 2013 4 月間強調 YMCA サービス・ASF

### 今日の聖句

こう言いながら後ろを振り向くと、イエスの立っておられるのが見えた。しかし、それがイエスだとは分からなかった。

ヨハネによる福音書 20 章 14 節

### 4 月強調月間

今 YMCA に必要とされているワイズの支援とは何か。ともに考え行動しましょう。

下村 明子 Yサ・ユース事業主任  
 (名古屋グランパスクラブ)

### 4 月例会 プログラム

とき	2013 年 4 月 18 日 (Thu.) 18:30~20:30
ところ	金沢ニューグランドホテル
会費	¥3,000 (会員不要) ¥2,000 (ネット)
司会	山本達也君
開会・点鐘	幸正一誠会長
主 題	司 会 者
ワイズ・ソング	一 同
今月の聖句	司 会 者
入 会 式	幸正一誠会長
ハッピーバースデー	幸正一誠会長
ゲスト紹介	数澤輝夫君
食前の感謝	伊藤仁信君
~~~~~ 会 食 ~~~~~	
スピーチ	植松茂氏
「声と言葉と目」	
一声と言葉の使い方、目、顔の表情は心の窓ですー	
委員会報告	各 委 員
ニコニコタイム	高口昇君
Y M C A の 歌	一 同

### 3 月 クラブ活動状況

#### 第1例会 (3月21日 Thu.)

メ ン : 伊藤、数澤、高口、幸正、澁谷、西尾、山本 (7名)

出席率 : 88 %

メネット : 伊藤、数澤、高口、山本、山内 (5名)

ゲ ス ト : 清水、西 (2名)

コメット : 西尾 (1名)

#### 第2例会 (3月1日 Fri.)

メ ン : 伊藤、数澤、幸正、澁谷 (4名)

メネット : 数澤、山内 (2名)

#### ニコニコタイム

12,000円

クラブファンド 累計 104,600円

#### B F ポイント

切手 0 kg 累計 0 kg

現金 12,000円 累計 12,000円

会 長	幸正一誠	書 記	山内ミハル
副 会 長	澁谷洋太郎	会 計	高口昇
前 会 長	数澤輝夫	ネット会長	数澤淑子

第一例会	: 毎月第三木曜日 18:30~20:30
	金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311
第二例会	: 毎月1日 18:30~20:00
	金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

## 「最近あれこれ思ったこと」

高口 昇

### <其一>考えさせられたこと

高校生の自殺、日本代表柔道女子へのスポーツ選手に対する指導者の体罰が社会に影を落とし大きな社会問題となっています。高校時代にサッカークラブに所属していた自分を振り返った時、当時は本当にマイナーなスポーツでしたが県内ではトップの座をキープ。入部して「強くなるにはこれだけの厳しい練習があつてこそ」とは思いますが、先輩達からは良く面倒をみてもらい、後輩達は良く協力してくれた充実した部活を過ごしました。後の社会生活、職場において「相手に真摯に接し、人は褒めて育つ」礎にもなっていると今も確信しています。立場を利用した暴言・体罰などは多分自分に自信のない人が行う行動ではないでしょうか。そういえば、選手のためとか、部下のためと言った方々、その昔、それによく似た人達を結構見かけましたが、まだそんな慣習が有ったことのほうが驚き・・・。

### <其二>感動したこと

3月はじめ朝の通勤時での出来事。会社まで約15kmの間に通学路が幾つかありますが、自宅から最初の信号のない横断歩道、女子の小学生(5、6年生)が私の1台前で手を挙げて

「ありがとうございます」と停車の車に向かって元気よく挨拶、渡り終わると止まってくれた車へ向かってお辞儀しました。大人の私でしたら軽く会釈して小走りに横断するぐらいのことしかできません。お陰様でこの1日は、彼女の爽やかで礼儀正しい振る舞いでとても気持ちの良い一日でした。親御さんたちの躰か彼女の資質でしょうか・・・。

### <其三>昭和46年にタイムスリップしたこと

3月に当クラブの山本メン・メネットのご子息お二人が続けて金沢教会で婚約式をされました。私も妻と立会いさせて頂きました。パイプオルガンが奏でられ式の始まった直後からお二人に重ね合わすようにグアム島・バプテスト教会で二人だけの結婚式を挙げた事が蘇ってきました。素晴らしいお似合いのカップルの門出と一緒に祝福をできたことに感謝です。また、山本夫妻に「乾杯!!」本当におめでとうございます。蛇足ですが、この年の8月に円相場は360円の固定相場から変動相場制へと移行されました。当時のレートはドルにたいして300円前後だと記憶しています。また、翌年に横井庄一さんがジャングルで発見されました・・・。

## <山内健司メンのこと>

健司先生とは結婚の前後から親しく家族付き合いをさせて頂きました。私たち夫婦にとっては多くのことを教えて戴き、また数多くの名語録、迷語録も懐かしく思い出されます。

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事に感謝しなさい。」健司先生のお好きだった聖句を心に刻んで、心から過ぎし日を偲んで感謝いたします。ありがとうございました。

### 植松 茂 氏プロフィール

群馬県前橋市生まれ。83歳。

北陸放送(MRO)でアナウンサー歴 約30年。

退職後は趣味として各種朗読やゴルフを楽しむ

傍ら、ソバ屋巡りを楽しむ。

現在は「新老人の会」、室生犀星記念館「草ひばりの会」、小立野・犀川ロード「9条の会」などの会員。

### 【3月例会報告】

3月はゲストスピーカーに、西信之氏をお招きし、「ニニギノ命(皇室の祖)と笠沙、宮崎、熊野と徐福伝説」と題して、スピーチをしていただきました。ご自分の名字が「西」であることから、西姓の多いところを調べたところ三重県の熊野川河口から新宮にかけてと、熊本県天草諸島、長崎県の五島列島、石川県では能登半島の珠洲市等、いわゆる辺境の地に非常に多いことが分かった。「何故か?」と調べていくと、日本書紀の記述と、一方で「徐福伝説」と関係があることが分かってきた。徐福は始皇帝に、はるか東の海に蓬萊・方丈・瀛洲という三神山があつて仙人が住んでいるので、不老不死の薬を求めに行きたいと申し出たところ、願いが叶い、莫大な資金を費やして一度旅



立つが、得るものがなく帰国。何もなかったとは言えず、「鯨に阻まれてたどり着けなかった」と報告した。始皇帝は再度大勢の技術者や若者を伴って船出することを許可。若い男女（揚子江の奥の方のいわゆる蛮族の子弟を奴隷代わりとして）と技術者3,000人を伴って、大船団で山東半島の煙台から出航し、何日も航海の末、どこかの島にたどり着いた。「平原広沢の王となって中国には戻らなかった」と中国の歴史書にかかれているという。この「平原広沢」は日本であるといわれている。徐福一行は新宮にある阿須賀岸壁や、北の波田（秦）須湾に上陸したと伝えられる。串木野の徐福公園には大きな徐福の像がある。この像は始皇帝の像に対峙している。

もともと徐福は不老不死の薬を持って帰る気はなく、多くの民を苦しめる始皇帝の政治に不満を抱き、新たな地への脱出を考えていたのかもしれない。男性染色体を調べていくと、始皇帝の目が青かったことから、彼はイラン、コサック地方から来た騎馬民族で、徹底的な残虐さを持ち、人を殺すことなどなんとも思わなかったようだ。

徐福は日本に永住し、その子孫は「<sup>アハ</sup>秦」と称したとする「徐福伝説」が日本各地に存在する。中国には徐福＝神武天皇とする説もある。徐福は中国を出る時、稲など五穀の種子と金銀・農耕機具・技術(五穀百工)持って出たといわれ、稲作は徐福が伝えたのではないかとも思われ、徐福が日本の国づくりに深くかかわる人物にも見えてくる。(奈良文化財研究所飛鳥資料館HPより)

徐福一行は、熊野の阿須賀（新宮）に上陸したが、徐福以外は伊勢湾の熱田（新宮）の海岸に達し、尾張氏の先祖となったのではないか。さらに豊明、豊川、豊橋から浜松一帯に住み着いた技術者集団一行と、富士のすそ野の秦野付近まで行き着いた一行があるのではないかと思われる。

この徐福伝説があるところに「西」姓が多い。

姓はもともと部族を表すものであったが、後に2文字の地名であらわされるようになった。「西」については、Nishi people と呼ばれる少数民族がある。nishi 族で、インド北東部、ブータンの東に住む民族であるが、中印戦争で、中国より大英帝国インド領に組み入れられた民族の流れを汲んでいるのであろう。いずれにしても「西」は少数民族の出身であると思われる。

(文責 山内ミハル)

## ~~~~~ お知らせ ~~~~~

### ☆入会者

清水 淳氏  
西 信之氏  
山内ミハル氏  
荒川中部部長他西日本区役員の陪席を要請しています。

### ☆東日本区大会

日 時：6月8日（土）～9日（日）  
場 所：花巻温泉 ホテル千秋閣  
登録費：18,000円  
参加予定：幸正<sup>ノ</sup>、伊藤<sup>ノ</sup>、数澤<sup>ノ</sup>、澁谷<sup>ノ</sup>  
この時、仙台廣瀬川クラブとのDBC締結を行う予定

### ☆西日本区大会

日 時：6月22日（土）～23日（日）  
場 所：名古屋能楽堂  
登録費：20,000円  
参加予定：幸正<sup>ノ</sup>、伊藤<sup>ノ</sup>、数澤<sup>ノ</sup>・<sup>ノ</sup>、澁谷<sup>ノ</sup>  
山内<sup>ノ</sup>

## ~~~~~ YMCA のお知らせ ~~~~~

### ☆早天祈祷会

日 時：2013年5月1日（月）6：00～  
場 所：金沢YMCA集会室

### ☆たけのこキャンプ

日 時：2013年4月29日（月・祝）  
場 所：三小牛竹林（北陸学院大学地内）  
申込先：澁谷洋太郎まで  
090-4683-9380

### Happy Birthday

メン 幸正 一誠君 4月15日

### 5月の担当

ブリテン執筆： 数澤 輝夫君  
山本 典子さん

卓話担当： 高口 昇君

原稿は4月25日までに山内までお願いします。

## 沖縄の旅

20年近く前ハワイへ旅した時の事、海の色を目にした瞬間その美しさに感激している私に、一緒にいた一人が「嗚呼！沖縄の海と一緒にだ」といった。私は沖縄に行ったことはないで、沖縄の海の色ってそんなに美しいのだ、ぜひ一度行きたいと思っていた。3月のはじめ友人から沖縄へ行かないかと誘われた私は行くことをすぐに決めた。

3月20日「充実のハイサイ沖縄ぐるり周遊」ツアーで小松から沖縄へと出発した。

沖縄の海、海の色をしっかりと見ようと期待しながら那覇空港に到着した。

まず、初日はシェフのパフォーマンスで有名なステーキレストランでのデナーです。ステーキを焼く過程で塩コショウの缶を、クルクル回しながら左右に投げたり背中受け止めたりと器用な芸で楽しませてくれた。200gの肉を皆さんおいしそうに召しあがっていたが、私は「六角堂のステーキの方が好きだな」と隣の友人に小声で言うと「私も！」とかえってきた。

2日目 琉球王国最高の聖域として知られる久高島を車窓より拝し「世界文化遺産斎場御獄」（せーふうたき）へ石を敷き詰めた坂道は息切れして大変だった。そして知念岬は素晴らしい景観の岬でした、そして平和記念公園は沖縄戦終焉の地として、平和の碑がきれいに並んでおりました。ひめゆりの塔をまわって「おきなわワールド」へ。鍾乳洞「玉泉洞」へ入り暗い通路を歩く。30万年の年月が自然に造りあげた造形美は本当にすばらしいものでした。

次のエイサー広場では沖縄各地で旧盆に踊られるエイサーを現代風にアレンジされたエイサー群舞の公演を見学。若いからこそ出来る早さ高さリズムだと感心して拍手、拍手であった。

「道の駅かでな」の展望フロアから嘉手納飛行場を見ましたが、飛行機の飛び立つ際の轟音は周りの住民はいくら防音してあるとは言え、毎日の生活、健康を思うと大変だと思いました。お菓子御殿を見て恩納村のリゾートホテルに到着。海側の部屋からの眺めは砂浜が続きずーっと広がるスカイブルーの海は、確かに20年ほど前にインプットされているハワイの海と一緒にでした。

夜はホテル内のステージで催された沖縄舞踊。若い男女が紅型衣装をまとい「寿の舞」「四ツ竹」「谷茶前」を踊る。ファイナーレはお客さん総出で輪になりリズムに合わせて沖縄独特の手ぶりで踊り終了。

3日目 万座毛へ万人が座るとされる草原から美しい東シナ海を眺める。海の色は太陽の光で色が違って見える。海洋博記念公園の散策、本島では見かけない樹木が園内一杯に植えられ沖縄随一の規模といわれる素晴らしい公園であった。

沖縄美ら海水族館は海を再現してつくられたというが、まるで海中で散歩しているようで1日居ても飽きないくらいである。イルカショーにも童心に帰って堪能した。

夜に街へ出かけ国際通りを歩き、ぎっしりと立ち並ぶ店舗、御土産屋、民芸店、民謡酒場を横目にして探訪を楽しむ。帰りはタクシーに乗ったがホテル名を忘れ、ホテルのキーを運転手に見せてお上りさんの帰還となりました。

4日目 首里城公園を見物。守礼の門は現在保存修理工事中でシートで覆われていました。昔ながらの家屋を残す日本の道百選の一つである金城町の石畳を歩く。足に自信のない方、不安な方は無理と説明があったがその通り。石畳みの急な坂道でほんの少し手すりがあるが、ころんだり、つまずいたりしないように足元ばかり見ていて、周りの景観を見る余裕もなくたどり着く。気温が26度と高く皆さん汗びっしょりになる。帰りの機内で小松の気温6度と放送があり温度差20度の体験をする。

ハワイの海と沖縄の海が同じ色であったことをこの目で見る事が出来て、楽しみにしていた3泊4日の旅行。ケガもなく無事に帰宅出来たことを感謝します。

主人の「お帰り！」のメモにアリガトウ！

(澁谷 節子 記)

## 【メネット会3月例会報告】

1月例会予定（ポットラックパーティ）が悪天候のため中止になりましたので、代わりに食事会を2月28日（木）1:30～レストラン「まほら」でいたしました。

浅野川のほとりの住宅街にあるレストランで季節柄お雛様をイメージしたかわいい前菜に始まり、シェフの創作意欲あふれるお料理、楽しい歓談に五感を満足させながら、ステキなランチタイムのひと時を過ごしました。

◎参加者：伊藤、数澤、高口、山本の各メン・メネット

(数澤淑子記)